

阪急タクシー Japan Taxi の検証

●実施経過

茨木市の取り組み(交通戦略会議)の関係で、福祉有償運送も含めた検討の必要を求めてこられていました。その会話の中で UD タクシー の課題(TOYOTA 車両)の話題になり、茨木市道路交通担当者も車両自体見たことがなかったようで、今回の検証となりました。

●実施日 2019. 1. 11

場所 阪急タクシー 高槻営業所 高槻市上田辺町 21-1

●参加者等(敬称略)

阪急タクシー労働組合・中村、運転手。

戸田、山脇(茨木市道路交通政策課)、六條、伊良原、山下、山名、遠藤(NPO アクティブネットワーク代表)、中村

●検証概要

・電動車いす利用者(六條、伊良原、山名、山下)で順番にUDタクシー(トヨタジャパンタクシー)に乗車&固定。

車内切り返し等は電動の為、運転手でなく本人の車いす操作で実施。

伊良原・山下は数回の切り返しで所定位置に。六條は10回程度切り返し要。山名はすんなり切り返し。

今回の阪急タクシー運転手さんは慣れた感じの方でしたので、スムーズでした。運転手さん曰く「ウチは、研修もしない人にこの車両には乗せない」とのこと。

スロープ設置や車いす固定などの手順で乗車10分程度

●聞いたこと・調べたこと(ランダム記載)

・阪急タクシーは、この車両を2018年度に6台(高槻営業所)

・今後は随時、車両を増やされる予定。

・ジャパンタクシーはトヨタのシエンタのシャシーをベースの車両。

※乗客からは「乗り心地がよい」と言われる(車内が広いから?)が、運転する立場からだとカーブの切り返しが難しい。

・道路と車両床面までの高さは「26cm」くらい。後部座席の開口部は、車両床面からの高さ130cm(開口部横幅さ、メモし忘れました)

※車椅子を利用されている、大柄な方や身長が高い方は、乗車厳しいと思います~頭部殴打?)

・スロープは2つ(ジョイントして1枚で使用可)。1つは後部座席下に収納、もう1つはトランク下に収納(同じ場所に収納されていれば良いのに)。

・スロープは、乗降時の傾斜によって、使用枚数を変える。(長短2枚のスロープがあれば良いのでは?)

・スロープサイズは横幅70cm、長さ(2枚つないだ長さ)140cm、対応の荷重は200kgまで。

・車いす固定ベルトは4本、それに加えてシートベルト。運転手さん曰く「手動車いすの方であれば、固定ベルトは後ろ2本だけで十分固定可能なので前2本は割愛できる」。(電動も割愛できるのでは?)

・以前乗車した時から、一部改良されていました(車いす固定ベルトの金具)

- ・以前乗車した時から、一部改良されてきました（車いす固定ベルトの金具）
→ 1～2分程度は短縮された？と思います。

● ジャパンタクシーの課題

タクシー乗り場のスペース拡大が必要。車両のスペースが限られており、固定が出来ない、乗車できない車椅子があり、対応の検討が必要。障害の特性を知ってもらうには当事者に入ってもらった研修が必要。







